

肥料業者及び地主に及ぼしたる影響如何を察するに肥料に關し
ては從來堆肥及び糞肥を自家肥
の増進を圖るに共に昨年来金
肥の施用を獎勵せり其結果東指
を想像せし脚からす所更
景氣を煽り
に春に至り世界經濟と共に
物價は漸次低落に傾き生絲
に五月と云ふに前年の

[illegible]

安東郵便局に於
東縣郵便局に就て年の瀬の景物は見られぬ、何暫に
不景氣を聞いて見るに大要 本年の
如きものである
引受口数は

年賀郵便は 昨年より六十一口、此の金高
引き受けの成績は非常に顯明八百八十七圓昨年は
開館の十五日より終りの二十口此の金高十三萬六千

長才も明年より一船にイカ屋敷に云へば誰はね
で仕事に手のあいて居た話の方は本年が七百九
であるまいかと思はれる爲替萬四萬六千七百七十
二十七日が一審忙しかつた年は九百三十口其の金

郵便の数は、昨年の十七萬九千四百九十
引受け、二十萬四千五百四十三金を
見ると、今年の引受けは、
百七十四萬七千七百七十九金と
なつて居る。これは、去年の
一萬五千五百五十六金に
較べると、二萬五千五百五十六金
に増した。

希望
(下)

大藏大臣子爵 高橋是清氏

六で該箇の銀行に取引關係を
 し居る有様であるからさの銀
 行に其の人の資産信用状態等
 について調査し、その結果を
 銀行に報告し、銀行は之を
 参考として、取引の可否を
 決定する。

其借手が何か隠匿を來した
云ふやうな場合には周章狼狽
を經つて回收を諸方面より追
探本公司に於て大正九年
より到着したる材木は二百三十一

云々 慣習を付けて所謂一人
 行主義でやつて行くことが相
 互に極めて必要であるさす
 示せば左の如し 安東縣
 安東縣消費三十六萬圓
 四千五百八十二連半に
 行はれたる木材の仕向

へず注意監視して居る形に
るから少しく冒險に過ぐるこ
ふやうな場合には銀行家は注
意を払ふべきである。

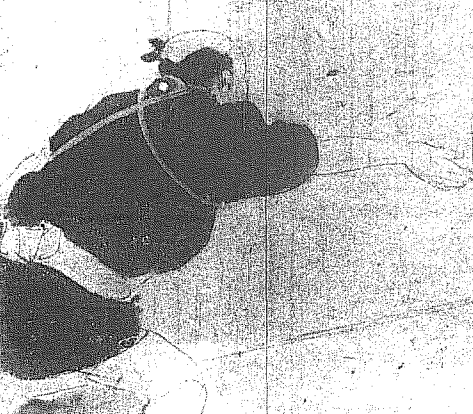
慰問品

- 面十五萬連、滿洲四十七萬連
- ▲上海四萬連、天津五萬連
- 山東四十八萬連、▲其他二萬連
- ▲合計二百二十萬連

雖も全くと同感である次には日
 樂ましむるものもなく
 不便の僻地にありて何

第六十四席 小金井 芳洲

言「ウーイ、ドリヤ
 やう」こ戸を立
 再び以前の寢
 思つて来るこ
 屋「エイツ、エイ
 た、彼れのを
 ちて終ふ、傳助のは
 サクリ／＼と通るのが
 つて見るこ何本持つて
 しまふ。幸「是ア何う
 所、傳助の



東城本町壹 電話 一四八〇
一八七〇
津村兄弟商會
一月十一日

一黒△氣に逆らふ問題多
 宿△收

四線▲紛^{マギ}紛^{マギ}の起る日常の事
五線▲吉と凶共に相半する

六白▲目上の引立てを得る。はぬ進路を見出すの日待人在。七赤▲幸運の目心を正し。

を告ぐる目益子養女を定む
九紫△急運的行動に出で
占むべく思惑買水物商
一白△舊を守つて安全油

[illegible]

